

# たくさんのご寄附 ありがとうございます！ ございます！

2024年5月

市では、皆様から頂いた寄附金や寄贈品を、市政発展のため様々な事業に活用しています。これからも魅力ある旭川のまちづくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願いします。

市に対する10万円以上の寄附または寄贈に伴う感謝状贈呈式を行い、報道発表を了承された団体を掲載。  
※寄贈は相当額。

各種基金の詳細はこちら



**原工業(株)様、北海アサノロックラー(株)様、道瑛コンクリート工業(株)様**  
代表取締役会長 山下裕久様(左)、代表取締役社長 山下弘純様(左から2番目)、山下彩心様(右)  
5,000,000円(街あかり推進事業)



**旭川美術振興会様** 会長 原田直彦様(左から2番目)、副会長 白井恵理子様(右から2番目)、理事 千葉新次様(右)、画家 佐藤道雄様(左)  
2,650,000円(佐藤道雄さん作の絵画作品2点と額縁2点)



**(医)くまいクリニック様** 事務長 熊井桂子様  
1,000,000円(一般寄附)



**北海道2500ロータリーEクラブ様**  
300,000円(旭山動物園に芝刈機、高枝チェーンソー)



**旭川ライオンズクラブ様**  
100,000円(育英事業基金)



**菅野副市長**  
**株北洋銀行様**  
100,000円(まち・ひと・しごと創生寄附活用事業・(株)ハンドクラブ様が発行した株北洋銀行様の金融商品「SDGs(ふるさと応援)私募債」によるもの)



**旭川トヨペット(株)様**  
110,000円(エゾヤマザクラ2本)



**中村副市長**  
**明治安田生命保険相互会社様**  
100,000円(電話音声明瞭器サウンドアーチ)

## ASAHIKAWA 100 PRIDE

vol.14

### 中央精工株式会社

熱意と行動力が、仕事に生命を吹き込む

## 日本初の装置で臓器保存の限界を切り拓く！

重症患者を救う臓器移植。旭川から最先端医療分野に果敢に挑むのが、創業54年の中央精工(株)(永山2の11)。超精密機械加工や金型製作の高い技術を持ち、国内外から注文が入ります。同社が開発したのは、令和4年に日本で初めて薬機認証された「移植用腎臓保存装置」。大手企業に先駆け、従来の限界を超える時間で腎臓を保存することに成功しました。移植用臓器の機能劣化防止や保存時間の改善、移植に関わる医療従事者の働き方改革などの実現に大きく寄与する製品です。代表取締役の佐々木 工さんは「そんなに難しいことはしていないよ」と謙遜します。「採算度外視だけどね。命を救いたかったんです、技術のPRにもなるしいんです」と豪快に笑います。

令和5年の国内腎臓移植件数は201件。今も国内では14,000を超える人が移植を待っています。\* 臓器保存の限界を切り拓いた旭川発の装置が、移植を待ち望む全国の患者や家族の光となるはずです。

※出典：(公社)日本臓器移植ネットワーク。  
移植件数は腎臓単独。人数は令和6年5月31日現在。



日本初！装置  
開発にかけた  
思いはこちら



①



①移植用腎臓保存装置。臓器の冷却とあわせて保存液を流し込む機構で、保存時間の延長に成功 ②代表取締役 佐々木 工さん。笑顔が印象的 ③全員が地元採用で、活気あふれる社風

②



③



#### ASAHIKAWA 100 PRIDE とは？

市制が施行されてから100年超の歴史を持つ旭川市。大正から令和にかけ様々な産業が発展する中で、「全国・世界に誇る旭川発！」をご紹介します。